



理事長 山崎 光悦

2023年4月1日、福島県浜通りの浪江町で開所式を行い、F-REIはその日からまさに一から全て手探りで前を見て走り続け、1年間が経過しました。この1年間、私たちF-REIを支えてくださった全ての関係者の方々、応援していただいた全ての皆様方に改めて心より感謝申し上げます。F-REIが掲げる4つの機能を軸に、私たちは日々活動を展開しています。F-REIが担うミッションは、一朝一夕に達成できるようなものではありませんが、一つひとつ活動を積み上げ、福島・東北のため、日本ひいては世界のために貢献できるよう、全身全霊で取り組んでまいります。（本誌の理事長インタビューより抜粋）



江村 克己 理事(研究開発管理)

分野長、副分野長、委託先の研究者をはじめとする多くの方々との議論により、F-REIの研究開発が目指すべきところを明確にしました。同じ項を目指す仲間をさらに増やしながら地域に価値をもたらすための取り組みを着実に進めます。



木村 直人 理事(運営統括)

4月に活動を始めて以来、ドタバタの中、あっという間の1年間でした。我々の活動は歩みが遅いように見えますが、小さな積み重ねが必ずや大きな形になってお見せできる日が来ます。その日を楽しみにお待ちください！



坂内 俊洋 執行役(事業企画・産業化)

令和5年度、日経平均株価がバブル期最高値を超え、日本初の月面着陸が成功しました。F-REIが設立されたこの年度から福島をはじめわが国は元気になった、と後に多くの国民に振り返ってもらえるようになればいいと思います。



大和田 祐二 執行役(人材育成・国際・外部資金)

F-REIから望む美しい阿武隈の山並は、昔の景色そのままです。しかしながらこの1年で、町と人の復興は、まさに道半ばだと痛感しました。F-REIが1日も早く地域に根付き、復興のお役に立てるよう頑張ります。



森下 信 監事(非常勤)

幕末に活躍した多くの秀才の精神的支柱となった儒学者・佐藤一斎が、言志四録に残した言葉のなかに、「一燈を提げて暗夜を行く 暗夜を憂う勿れ只一燈を頼め」とあります。200年ほど前のことばが生きています。



中西 友子 監事(非常勤)

浪江町に腰を据え始めて1年。まだ仮住まいですが、関係者皆一丸となって努力してきた結果、F-REIは何とか形が見えてきたところです。これからの本格的な稼働に向けてさらに邁進していきたいと思っております。

「F-REI 1年のあゆみ」は、Webサイトで全頁公開しています。



2024年7月発行 「F-REI 1年のあゆみ」概要版

福島国際研究教育機構 (F-REI : エフレイ)
Fukushima Institute for Research, Education and Innovation

〒979-1521 福島県双葉郡浪江町大字権現堂字矢沢町6-1 ふれあいセンターなみえ内
TEL : 0240-41-9970 | E-mail: madoguchi.h5x@f-rei.go.jp | https://www.f-rei.go.jp/



この印刷物は、FSCの基準に従って
認証され、適切に管理された森林からの
木材を含んだ用紙を使用しています。

Fukushima Institute for Research, Education and Innovation



F-REI

福島国際研究教育機構

1年のあゆみ

2023年4月－2024年3月

概要版

設立から1年という機会に、
F-REIの活動の一端をご紹介します冊子を作成しました。

この1年間、F-REIを支え、応援してくださった全ての
皆様方に心より感謝申し上げます。

F-REI(エフレイ)とは

- ◆ 福島国際研究教育機構 (Fukushima Institute for Research, Education and Innovation 略称：「F-REI」)は、福島復興再生特別措置法に基づき**特別の法人として国が設立した研究教育機関**です。
- ◆ 理事長のリーダーシップの下で、F-REIの持つ研究開発・産業化・人材育成・司令塔の4つの機能を発揮するための取組を一体的に推進します。

創造的復興の中核拠点

F-REIは、福島をはじめ東北の復興を実現するための夢や希望となることをめざして誕生しました。福島の問題に立ち向かい、復興への道とその先の未来を切り拓くためには、産業や社会のしくみを転換できるイノベーションが必要で、そのイノベーションの創出には、将来を見据えた研究開発が不可欠です。

F-REIは研究者たちが世界最先端の研究開発に取り組める世界水準の環境を整え、そこから生まれる成果を福島・東北の復興に結びつけていきます。さらに、その効果を広く波及させ、「日本の科学技術力」と「産業競争力」を世界トップレベルへと牽引し、経済の再生と日本全体の成長につなげていきます。

4つの機能

F-REIは、次の4つの機能を併せ持ち、これらの機能を複合的に結びつけることで、国内外に効果を波及させていきます。

1 研究開発

世界でも例をみないほどの複合的な災害を経験した福島。この地だからこそ優位性を発揮できる5つの研究分野を定めて、世界最先端の研究を推進します。

3 人材育成

復興の先に未来を広げるために、大学院や大学・高等専門学校との連携や、小中高生に向けた実験教室やセミナーをはじめ、次世代を担う人材の育成に取り組みます。

2 産業化

研究開発から生まれた成果を、福島県浜通りを中心とした広域なフィールドを活かして実証・実装し、イノベーションと新しい産業の創出に結びつけます。

4 司令塔

これまで福島・東北で先行的に進められてきた復興に向けた活動を大切にしながら、F-REIが関係機関の連携を推進する役割を担うことで、大きな推進力を生みだします。

5つの研究分野

福島だからやるべき研究、福島だからできる研究を見定め、5つの研究分野において、世界最先端の研究を進めます。

1 ロボット

複合災害を経験した福島で、廃炉や災害現場等の過酷環境で機能を発揮するロボット・ドローンの研究開発を行います。

2 農林水産業

震災により大規模な休耕地や山林を有する地域特性を考慮し、新しい技術シーズの活用など、従来にはない次世代農林水産業に挑戦します。

3 エネルギー

既存の水素関連設備等を活用し、カーボンニュートラルを地域で実現します。併せて先駆的なスマートコミュニティの実現に寄与します。

4 放射線科学・創薬医療、放射線の産業利用

福島の複合災害からの創造的復興の研究基盤として、放射線科学(核物理学、放射化学、核医学など)を据え、放射線やRIの利活用の検討を行います。

5 原子力災害に関するデータや知見の集積・発信

福島の複合災害から得られる様々なデータを蓄積し、知見を伝承することで、来るべき今後の災害への対策に資するとともに、まちづくりに貢献します。

F-REIにおいて、当初は外部委託による研究開発から進めております。

詳細はWebサイト「実施中の委託研究について」(右記QRコード)をご覧ください。



市町村座談会

この1年間、F-REIが行う研究開発・産業化・人材育成の取り組みにおける広域連携体制の構築を図るため、市町村や住民、企業・団体等、多様な主体と対話する場として、市町村座談会を浜通り地域等15市町村で実施しました。



【6月20日／いわき市】農業法人(トマト)、エネルギー関連企業への視察を行い、座談会を実施しました。



【8月29日／田村市】植物工場、森林組合、ピーマン・ホップ生産農家、バイオマス発電所の現地視察を行い、座談会を実施しました。



【10月23日／新地町】天然ガス発電所、樹脂製品製造工場の現地視察を行い、座談会を実施しました。



【12月19日／相馬市】スマートコミュニティ実証施設、わさび栽培施設の現地視察を行い、座談会を実施しました。



【7月5日／南相馬市】農業法人(主にブロッコリー)、ワクチンを製造する企業、ロボット関連企業の現地視察を行い、座談会を実施しました。



【9月29日／広野町】火力発電所、バナナ栽培施設、大学のサテライト研究室の現地視察を行い、座談会を実施しました。



【11月6日／飯館村】金属製品等製造企業、木質バイオマス発電所の現地視察を行い、座談会を実施しました。



【1月18日／川俣町】植物ワクチン工場、ワイヤーハーネス・ケーブル製造工場の現地視察を行い、座談会を実施しました。



【7月27日／葛尾村】酪農家、農業法人(花き)、エビの陸上養殖を行う企業の現地視察を行い、座談会を実施しました。



【10月11日／富岡町】廃炉関連製品製造企業、木材(パネルログ)製造企業の現地視察を行い、座談会を実施しました。



【11月17日／楡葉町】遠隔操作機器開発実証施設、甘藷貯蔵施設の現地視察を行い、座談会を実施しました。



【1月30日／双葉町】ナノマテリアル製造工場、ドローン整備工場、燃糸製造施設の現地視察を行い、座談会を実施しました。



【8月9日／浪江町】農業法人(花き)、集成材製造施設、コンクリート製品製造企業の現地視察を行い、座談会を実施しました。



【10月17日／川内村】ワイナリー、建設機械部品工場の現地視察を行い、座談会を実施しました。



【12月4日／大熊町】インキュベーション施設、認定こども園・義務教育学校の現地視察を行い、座談会を実施しました。

トップセミナー

F-REIでは、福島の創造的復興と発展を中長期的に支える地域の未来を担う若者世代を対象とした人材育成の取り組みの一環として、F-REIの役員等が講師となり、最先端の科学技術の魅力と可能性等を学生・生徒へ伝えるトップセミナーを行っています。

2023年

5月17日	福島大学 講師：山崎理事長	7月4日	会津高校 講師：中西監事	9月25日	福島工業高等専門学校 講師：森下監事	11月7日	東日本国際大学 講師：山崎理事長
5月30日	会津大学 講師：山崎理事長	7月13日	小高産業技術高校 講師：森下監事	9月26日	福島工業高等専門学校 講師：山崎理事長	11月24日	福島大学 講師：江村理事
6月13日	相馬高校 講師：大和田執行役	8月31日	安積高校 講師：大和田執行役	10月4日	福島県立医科大学 講師：中西監事	12月1日	磐城高校 講師：森下監事
6月30日	会津学鳳中学校・高校 講師：大和田執行役	9月12日	ふたば未来学園高校 講師：山崎理事長	10月4日	福島高校 講師：大和田執行役	12月7日	原町高校 講師：大和田執行役

連携協力に関する基本合意書(MOU)等の締結

F-REIでは地域と一体となって活動を進めるために、福島県内の市町村、福島県に拠点を置く企業、大学・高校などの教育機関と基本合意書等を締結しています。基本合意書等の締結により協力の輪を広げ、F-REIの認知度の向上や活動内容に対する理解を促進し、ともに福島の未来をつくっていくためのネットワークの構築を進めていきます。

2023年

4月1日	福島工業高等専門学校	4月15日	いわき市	5月29日	浪江町	9月1日	南相馬市	1月25日	株式会社東邦銀行
4月5日	福島県立医科大学	5月17日	福島大学	5月30日	会津大学			3月8日	東北大学※

※東北大学については、基本合意書他、教育・研究協力に関する協定書も締結しています。

2024年